

左側写真は昭和 47 年に完成した旧本館、本館の南側に東館、西館、エネルギーセンター等の施設を配置。右側写真は新本館。

歴史を受け継ぐ



2025 年問題を見据えて、長門医療圏の地域医療構想に沿った工事を計画。

増改築工事の目的

- 本館病棟は昭和47年に竣工、平成26年12月に実施した耐震診断では耐震基準を満たさず。手術室、放射線治療治療室も昭和59年に竣工、老朽化のうえ狭隘化しているため、それを含めた建替えが不可欠と判断。
- 救急告示病院・地域がん診療病院・災害拠点病院等の各種指定を受けている医療圏唯一の公的医療機関として、地域医療構想における将来の医療提供体制に向けて中心的役割を果たすため、
 - ① 外来・救急室・手術室・検査棟を充実し急性期機能を強化
 - ② 地域包括ケア病棟を整備し回復期機能を充実
 - ③ 医局・管理部門の整備
 - ④ 地域医療連携の整備・充実
 - ⑤ 放射線治療室の充実・機器更新を基本構想において建替え工事に着手。

設計コンセプト



工事概要

- 工 期 : 平成31年 1月11日～令和3年 7月1日
 - 敷地面積 : 31,118.39m²
 - 建築面積 : 今回増築部分:3,5508.440m² 既存部分:5,553.440m²
 - 延べ床面積 : 今回増築部分:8,851.778m² 既存部分:16,421.552m²
-
- 本館東棟 : 鉄筋コンクリート造 4階建て 5,584.59m²
 - 本館中央棟 : 鉄筋コンクリート造 3階建て 2,629.87m²
 - リニアック棟 : 鉄筋コンクリート造 2階建て 339.50m²
 - 西館待合ホール : 鉄 骨 造 平屋建て 35.69m²
 - 渡り廊下A棟 : 鉄筋コンクリート造 平屋建て 14.72m²
 - 渡り廊下B棟 : 鉄 骨 造 3階建て 172.87m²
 - 渡り廊下C棟 : 鉄 骨 造 平屋建て 74.07m²
-
- 施工管理者 : 全国農業協同組合連合会西日本施設農住事業所山口施設農住事務所
 - 設計・監理者 : 大旗連合建築設計株式会社
 - 施 工 者 : 安藤・間・協和建設工業特定建設工事共同企業体
 - エネルギーサービス: 株式会社関電エネルギーソリューション

雪のちらつく寒い1月17日、本館中央棟建設予定地において起工式を挙る。

出席者全員で工事中の安全をお祈りする。



起工式後の集合写真



第1期工事 放射線治療棟の建設工事開始

リニアック棟 基礎掘削状況



重厚な鉄板を壁に埋設する作業

リニアック室 放射線防護用鉄板敷設作業状況
鉄板1枚当たり 約4t の重量があります。



放射線治療棟の完成



第 2 期工事 本館東棟建設工事開始

昭和 50 年 10 月に完成した検査棟、本館東棟建設のため解体。

既存検査棟 解体前状況



重機にて検査棟解体状況



検査棟解体完了

本館東棟建設地をドローン撮影

建物基礎下 地盤改良杭施工状況



基礎工事状況



終盤に向かう本館東棟建設工事

内・外装施工状況



新本館東棟完成

令和2年5月

旧本館の解体を開始する

本館解体着工前



解体状況



解体状況



「長門 JA 病院」の文字が消え、職員が一抹の寂しさを感じた頃

解体状況





本館解体完了

第3期工事 本館中央棟建設工事開始

新本館中央棟 着工前



基礎下 地盤改良杭施工状況



躯体・内装工事状況



新本館中央棟完成

令和3年4月

建物建設工事終了を受け、「おもいやり駐車場」で定礎式を挙行

定礎式

令和3年4月26日

正面玄関前での除幕式

定礎石 除幕 完了状況



定礎式集合写真



第4期工事 東館2階改修工事開始、

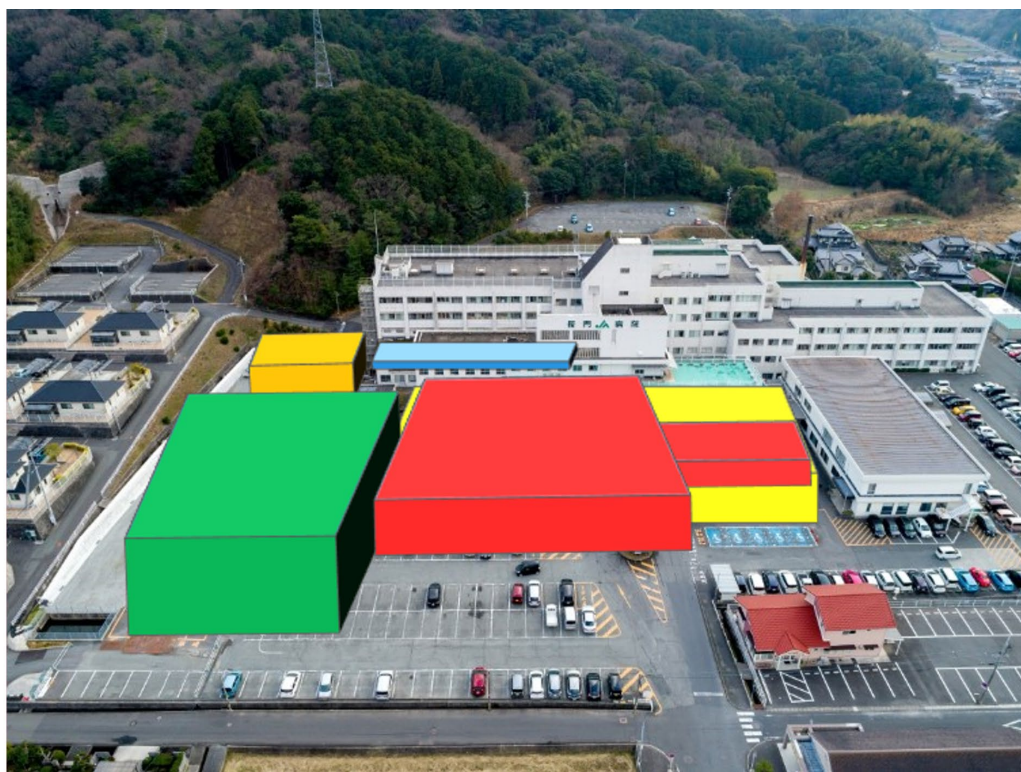
改修工事 着工前



内部コンクリート・コンクリートブロック壁 解体状況



着色部分が今回の第1～4期の工事で新しく生まれ変わったエリア



竣工式神事

令和3年7月15日



村松院長による玉串奉奠



竣工式神事後の集合写真



竣工式式典 金子経営管理委員会会長の挨拶



現在の長門総合病院全景

